

# 学社融合のまち・秋津

6月26日、久門教育長、水野校長、甲谷教諭の3名が、コミュニティ・スクールの先進校千葉県習志野市立秋津小学校を視察してきました。

昭和55年に東京湾の埋め立て地に造成された秋津地区では、小学校を拠点に住民が主体となった地域活性化が進められていました。

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成26年7月3日 (NO.23)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所



■**秋津コミュニティ誕生** 昭和55年、秋津小学校の開校とともに、地域の祭り「秋津まつり」が校庭を主会場として開かれ、読み聞かせサークルによる「学校お話し会」がスタートした。

平成7年、秋津小学校に、余裕教室4室と花壇・陶芸窯など地域住民の活動拠点となるコミュニティルームが開設された。地域住民による演劇サークルや工作クラブ等、40前後のサークル活動が母体となって教育活動を支援するなど、学社融合の基盤が着々とつくられてきた。

■**コミュニティ・スクールの研究指定** 平成8年、小学校と地域の合同運動会を開始。翌年には地域ぐるみの「防災被災訓練1泊キャンプ」が開催された。

平成14年、文部科学省の研究指定校として「地域学校協議会」が発足。秋津コミュニティなど地域の代表者20名で協議会を構成し、学社融合の仕組みづくりが進んだ。

■**学校運営協議会とパートナー会議** 平成17年、文部科学省の「CS推進事業」指定校。

習志野市初のコミュニティ・スクールに指定され、「学校運営協議会」を発足した。任務として、基本方針の承認、学校運営に関する意見、任用に関する意見を規定している。

地域学校協議会は、「パートナー会議」と改称され、次の4部門からなる学校支援ボランティアの実働部隊が設置されている。

- ① 「環境支援」⇒クリーン&グリーン作戦、ピオトープや畑づくりなど
- ② 「学習支援」⇒授業や行事への支援など
- ③ 「安全支援」⇒網の目シフト作戦、非常災害防災システムの確立など
- ④ 「情報支援」⇒学校ホームページの作成と更新による情報発信など

なお、学校運営協議会は年3回、パートナー会議は年10回開催されている。

